土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　可部八丁目21地区　外　急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

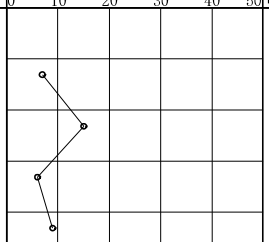
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 掘削・掘削のり面

ボーリング名	BO-5	**調査位置**	広島県広島市安佐北区大林町					**北緯**	34° 34′ 15.6257″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2022年 4月 9日 ～ 2022年 4月 15日			**東経**	132° 33′ 45.4067″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 149.60m	**角度**	180° 上 90° 下 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	
総削孔長	8.00m							**試錐機**	東邦地下工機　D-0B
								エンジン	ヤンマー　NFAD8
								ポンプ	東邦地下工機　BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	148.15	1.45		礫混じり砂質土		茶灰	rd2		崩積土 中砂を主体とし、φ=40mmまでの礫を多く含む。 表層10cmは植物根を混入する腐葉土。	
2 3 4	145.20	4.40		礫質土		褐灰	rd2		崩積土 φ10cm程度までの角礫を主体とする。	
5	144.05	5.55		花崗岩					軟岩II(CM級主体) 短柱状コアを主体とし、一部片状～礫状、深度4.4m～4.65mの間ハンマー軽打で崩れ礫状になる。	04.13 6.09
6	142.90	6.70		花崗岩					軟岩I(CL級) 全体的に割れ目が多く入り、周辺より軟質となる。 ハンマー軽打で崩れ礫状になる。傾斜60°の割れ目が数cm～十数cm間隔で入る。	04.18 7.20
7 8	141.60	8.00		花崗岩					軟岩II（CM級） 深度7.2m付近、傾斜60°程度の粘土の薄層を伴う割れ目が入り、周辺コアはやや軟質。 コアは短柱状コアとして採取され、岩片は硬質である。	

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15	1	2	4	7/300		
	1.45						
15	2.15	10	2	3	15/300		
	2.45						
6	3.15	2	2	2	6/300		
	3.45						
9	4.15	2	4	3	9/300		
	4.45						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					4/12
					4/13